

平成26年2月14日

山形県遊佐町長
時田 博機 殿

遊佐町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 鈴木 とも子

副主任監査員 遠藤 はる奈

環境監査報告書

LAS-E 共通実施項目の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 日時

平成26年2月12日（水）～14日（金）

2. 監査対象

本庁舎	10	実行部門
市民利用施設	8	実行部門
保育施設	3	実行部門
教育施設	7	実行部門
指定管理施設	10	実行部門
計	38	実行部門および推進委員会

3. LAS-E 監査内容

共通実施項目監査

第1ステージ No.1～No.11, No.13～No.22, No.24～No.29

第2ステージ No.17, No.20

4. 総合所見

遊佐町の LAS-E 共通実施項目監査を実施しました。その結果と所見は次のとおりです。

<全体結果>

今回の監査では、エコアクション・エコマネジメント・エコガバナンスすべての項目で「良好（○）」と評価しました。1点のみ「基本方針の認識・理解」に関する項目で×（勧告）評価となった施設がありましたが、これ以外は昨年度監査で認識の不徹底を指摘した項目も含め、良好な実施状況を確認できました。昨年度から LAS-E の取り組みに参加した指定管理施設やまちづくりセンターでも、基本的事項の認識や取り組みが良く徹底されていただけでなく、施設の特徴を活かして工夫しようとする積極的な姿勢を感じることができました。

昨年度、環境基本計画が改定されたことを受けて、今回の監査では主要事業について担当課に対するヒアリングを行いました。担当者から、事業のねらいや実施状況、今後の展望などを詳しく説明していただき、事業への理解が深まりました。再生可能エネルギーの導入を中心とした新たな取り組みも紹介され、今後の成果に期待が高まりました。

「大変良い（◎）」と評価した取り組みは 15 個であり、昨年と同数でした。庁舎内の取り組みでは、ごみの排出量などを工夫を凝らしたグラフにまとめ、達成状況について課内でしっかり情報共有するなど、職場ごとに PDCA サイクルを確立している状況が見られました。庁舎内外を問わず、目標達成に向けてどうしたら職員の取り組みをサポートできるかを考え、実践しているエコ推進員や LAS-E 担当職員が増えており、心強く感じます。庁舎以外の取り組みでは、今年も地域住民と連携した活動を高く評価しました。各学校やまちづくりセンターでは、地域住民が先生として環境学習を牽引している事例が多く見られます。こうした活動の基盤に長年育まれてきた地域内の信頼関係があることの素晴らしさを、関係職員だけでなく地域全体で改めて見直していただきたいと思えます。

<今後の課題>

①「運用の手引き」の見直しについて

現在はすべての部署・施設で同じ「運用の手引き」を使用していますが、職場ごとに状況が大きく異なる中で、共通のルールや目標が適用できない部分が見えてきました。現行のルールを厳格に適用することで営業に支障をきたすのではないかと不安も聞かれる一方で、施設の特徴を生かした独自の省エネ・省資源の取り組みを行っている施設も多くあります。例えばエコアクションの視点に係る項目については、細かな取り組みルールは職場ごとに独自に定めることもできるようにするなど、弾力的に運用する方法を検討してみたいかがでしょうか。自分たちの職場では何ができて、何ができないのかを明確にするために話し合うことが、LAS-E の意義への理解を深めることにもつながります。

②町民への波及について

監査のために各職場を訪れたことで、監査員側も多くのことを学びました。様々な施設が真剣に環境のことを考え、取り組んでいることが伝われば、町民・利用者も協力するようになり、自身の生活においても気づきが生まれると思えます。利用者の利便性・快適性とのバランスが難しい面もありますが、町民が利用する施設では引き続き PR に努めてください。同時に、町民の意識を変えていくための情報発信・啓発にも、時間をかけて取り組んでいく必要があります。町の取り組みを向上させることと町民の意識改革が両輪となって、町全体に「環境共生都市」に向けた動きが浸透していくと思えます。

5. 共通実施項目評価結果

2	視点	取り組み内容 (◎は必須項目)	実施率 (◎または○)	評価 結果
1	エコアクション	◎職場内で省エネルギー(電気、ガス、灯油などの利用削減や効率的利用)に取り組んでいる	100%	○
2		職場内で節水や排水時の環境負荷低減に取り組んでいる	100%	○
3		職場内で紙使用の抑制・再使用・リサイクルに取り組んでいる	100%	○
4		職場内で廃棄物の発生抑制・再使用・リサイクルに取り組んでいる	100%	○
5		職場で使う製品のグリーン購入(再生紙、環境配慮型製品の使用など)や地場製品の購入に取り組んでいる	100%	○
6		公共施設における再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオマスなど)の活用を検討し、導入している	100%	○
7		公共施設において環境配慮型設備の設置・更新(高効率・省エネ型設備、断熱化、緑化など)を検討し、導入している	100%	○
8		庁舎・施設内に常在する者(施設管理者、食堂・売店スタッフ等)に環境配慮の要請をしている	100%	○
9		庁舎・施設へ出入りする事業者に環境配慮への協力の要請をしている	100%	○
10		公用車利用による環境影響の抑制(職員の勤務中の公用車利用の抑制、エコドライブ、自転車の利用や低公害車の導入など)を実施している	100%	○
11		職員の通勤時の直接的環境影響の低減(マイカー使用の抑制、エコドライブ、公共交通機関や自転車の使用など)を実施している	100%	○
13	エコマネジメント	◎首長が環境に関する基本方針を設定し、職員がこれを認識・理解している	92%	○
14		事務事業に伴う環境への影響の内容が把握されており、職員がこれを認識・理解している	100%	○
15		職員が環境マネジメントシステムで定めた独自の数値目標について、認識・理解している	100%	○
16		環境マネジメントシステムに関する組織体制・責任体制が明確になっており、職員が組織上の役割を認識・理解している	100%	○
17		職員が環境や環境マネジメントシステムに関する教育を受け、その内容を理解している	100%	○
18		各職場において独自の環境配慮の工夫をしており、職員がこれを理解し実践している	100%	○
19		事務活動に伴う環境負荷の発生量を定量的・定期的に把握している	100%	○
20		庁内事務活動の環境への取り組みに関する部門間の協議組織が定期的に開催されており、内容を職員に指示・伝達している	100%	○
21		すべての職員に環境や環境マネジメントシステムに関する教育を受ける機会や情報を定期的に提供している	100%	○
22		首長が環境に関する協議組織と定期的に協議し、環境マネジメントシステムについて適切に指示している	100%	○
24		エコガバナンス	◎環境に関する基本方針を一般に公開している	100%
25	環境に関する数値目標の達成状況や取り組みの実施状況を定期的に公開・提供している		100%	○
26	環境に関連する計画(環境基本計画、都市計画マスタープラン、緑の基本計画、ごみ処理基本計画など)の内容を公開・提供している		100%	○
27	環境に関連する計画(環境基本計画、都市計画マスタープラン、緑の基本計画、ごみ処理基本計画など)の策定・運用にあたり、途中経過を率先して公開・提供している		100%	○
28	環境を保全・改善する施策・事業(公園・緑地整備、水辺整備など)について、その内容を公開・提供するしくみがある		100%	○
29	環境に影響を与える主要な公共事業(道路等の建設、ごみ処理施設建設、宅地造成・公共施設建築など)について、その内容を公開・提供するしくみがある		100%	○
17	環境に関する計画や施策・事業について点検・評価し、成果や課題について把握し、今後の方針を検討している		100%	○
20	第2ステージ	職員が環境に関する基本目標や地域の特徴を踏まえ、自らの役割や実践すべきことを認識・理解している	100%	○

※評価結果 実施率 80%以上で○、60%以上で△、60%未満で×

(参考) 「規格別」実施率算定

ステージ	No.	視点	事務局					事務局以外					合計					◎ or ○ (A)	集計対象 (非該当等 除く) (B)	実施率 (A/B)	
			◎	○	△	×	/	-	◎	○	△	×	/	-	◎	○	△				×
			大変良い	良好	改善事項	勧告事項	該当なし	質問せず	大変良い	良好	改善事項	勧告事項	該当なし	質問せず	大変良い	良好	改善事項	勧告事項			
1	1	A		1						14						15			15	15	100%
1	2	A		1						8						9			9	9	100%
1	3	A		1					1	9					1	10			11	11	100%
1	4	A		1						13						14			14	14	100%
1	5	A		1						13						14			14	14	100%
1	6	A		1						5						6			6	6	100%
1	7	A		1						4						5			5	5	100%
1	8	A		1						1						2			2	2	100%
1	9	A		1						9						10			10	10	100%
1	10	A		1						9			1			10			10	10	100%
1	11	A		1					1	10					1	11			12	12	100%
1	13	M		1						11		1				12		1	12	13	92%
1	14	M		1						12						13			13	13	100%
1	15	M		1						13						14			14	14	100%
1	16	M		1					3	19					3	20			23	23	100%
1	17	M		1						27						28			28	28	100%
1	18	M		1					9	29					9	30			39	39	100%
1	19	M		2						10						12			12	12	100%
1	20	M		2						9						11			11	11	100%
1	21	M		2												2			2	2	100%
1	22	M		2						1						3			3	3	100%
1	24	G		2												2			2	2	100%
1	25	G		2												2			2	2	100%
1	26	G		2						3						5			5	5	100%
1	27	G		2						3						5			5	5	100%
1	28	G		2						4						6			6	6	100%
1	29	G		2						2						4			4	4	100%
1	30	G																			-
2	17	M								4						4			4	4	100%
2	20	M							1	15					1	15			16	16	100%
	合計			37					15	257		1	1		15	294		1	309	310	

(資料) 「設問別」実施率算定資料

ステージ	No.	視点	設問 No.	設問内容	◎	○	△	×	/	-	◎ or ○ (a+b) =(f)	算定対象 数 (該当無し 除く) (a+b+c+d) =(g)	設問別 実施率 (f ÷ g)
					大変 良い (a)	良好 (b)	改善 要望 事項 (c)	勧告 事項 (d)	該当 なし	質問 せず			
1	1	A	1	省エネ		14					14	14	100%
1	2	A	2	節水・排水負荷削減		8					8	8	100%
1	3	A	3	紙使用抑制	1	9					10	10	100%
1	4	A	4	廃棄物抑制・リサイクル		13					13	13	100%
1	5	A	5	グリーン購入		13					13	13	100%
1	22	M	6	首長との定期的協議		1					1	1	100%
1	16	M	7	EMS上の役割の理解(町長)		1					1	1	100%
1	16	M	8	EMS上の役割の理解(副町長)		1					1	1	100%
1	6	A	9	再生可能エネルギーの導入		5					5	5	100%
1	7	A	10	環境配慮型設備の導入		4					4	4	100%
1	8	A	11	常在業者への環境配慮要請		1					1	1	100%
1	9	A	12	出入業者への環境配慮要請		9					9	9	100%
1	16	M	13	システム上の役割の認識・理解	2	7					9	9	100%
1	17	M	14	職員研修の実施		15					15	15	100%
1	19	M	15	環境負荷の定期的把握		10					10	10	100%
1	27	G	16	環境関連計画の途中経過の公開		3					3	3	100%
1	26	G	17	環境関連計画の公開		3					3	3	100%
1	28	G	18	環境保全・改善事業の公開		4					4	4	100%
1	29	G	19	環境負荷を与える事業の公開		2					2	2	100%
2	17	M	20	環境施策・事業の点検評価		4					4	4	100%
1	10	A	21	公用車利用の環境影響の抑制		9			1		9	9	100%
1	20	M	22	部門間の定期的協議		9					9	9	100%
1	16	M	23	システム上の役割の認識・理解	1	10					11	11	100%
1	11	A	24	通勤時の環境影響の抑制	1	10					11	11	100%
1	13	M	25	基本方針の認識・理解		11		1			11	12	92%
1	15	M	26	独自目標の認識・理解		13					13	13	100%
1	17	M	27	職員研修の実施		12					12	12	100%
1	14	M	28	環境影響の認識・理解		12					12	12	100%
2	20	M	29	地域の環境特性の理解	1	15					16	16	100%
1	18	M	30	実行部門ごとの環境配慮	9	29					38	38	100%
合計 (事務局監査分除く)					15	257	0	1	1	0	272	273	